

近世文化展示室 守屋壽コレクションの世界
「江戸の風景」展示資料一覧

会期 令和5年7月29日(金)～9月24日(日)

No.	資料名	時代・時期	形状	説明
1	鍬形蕙斎画「江戸全図」	江戸時代(19世紀初頭頃)	卷子装	浮世絵師鍬形蕙斎が描いた江戸の鳥瞰図。江戸の鳥瞰図の代表的な作品。
2	江戸之図	文政10年(1827)頃	畳物	熊本藩が発注したとみられる、大型の江戸鳥瞰図。文政年間に須原屋から出版された江戸の切絵図「安見御江戸絵図」を基に描いたことが分かっている。
3	歌川広重画「江戸百景余興鉄砲洲築地門跡」	安政5年(1858)	一紙	広重の江戸名所を描いたシリーズもののうち、江戸名所百景の補足として刊行されたもののうちのの一つ。築地の東本願寺が描かれている。
4	歌川広重画「名所江戸百景両国花火」	天保3年(1832)	一紙	広重の江戸名所を描いたシリーズもののうち、もっとも有名な江戸名所百景のなかの一作品。隅田川の花火を描いている。
5	歌川広重画「江都名所洲崎しほ干狩」	安政5年(1858)	一紙	広重の江戸名所シリーズのうち、江都名所のうちのの一つ。潮干狩りをする庶民の様子を描いている。
6	歌川広重画「江戸百景余興芝神明増上寺」	安政5年(1858)	一紙	No.3と同じく江戸名所百景余興のうちの一作。芝の増上寺に参詣した一行を描いている。
7	歌川広重画「東都名所浅草金龍山 年之市群衆」	天保3年(1832)	一紙	広重の江戸名所を描くシリーズとしては早い時期の、東都名所のうちの一作。年末の市でにぎわう浅草浅草寺の様子を描いている。
8	長谷川雪旦画「東都新川図」	天保9年(1838)	軸装	No.9の「江戸名所図会」の挿絵を描いたことで知られる長谷川雪旦の肉筆画。日本橋川周辺を描いている。
9	江戸名所図会	天保7年(1836)	冊子	本書は、江戸時代に刊行された、江戸の地誌として最も有名なもの。長谷川雪旦の挿絵は、写実的で人気を博した。